

2026 年 10 月 26 日

御殿場ガス供給エリアにおける 都市ガススマートメーターの全戸導入について

静岡ガス株式会社（代表取締役 社長執行役員 松本尚武）のグループ会社である御殿場ガス株式会社（代表取締役社長 池上司、以下「御殿場ガス」）は、静岡ガスグループにおけるスマートメーター導入の取り組みの一環として、御殿場ガス供給エリア内の全戸を対象に、都市ガススマートメーターの導入を開始します。

本取り組みでは、御殿場ガス供給エリア内の約 4,600 戸に設置されている既存のガスメーター（マイコンメーター）を、2026 年 11 月から順次スマートメーターへ取り替え、2028 年末までに全戸への設置完了を目指します。スマートメーターは、従来のマイコンメーターに比べ更に高度な保安機能と通信機能を持ち、遠隔でガス使用量や圧力の取得や遮断・復帰ができる次世代型のガスメーターです。近年、自然災害の激甚化や気候変動への対応が求められるなか、エネルギー分野でのデータ活用の重要性が高まっています。導入により、ガス供給の安全性向上に加え、緊急時や災害時の保安体制強化やレジリエンス向上に貢献します。

また、スマートメーターから得られる圧力・流量データを活用し、地中のガス導管の状態を把握する実証※を行います。本実証では、AI に導管の詰まり（閉塞）などにもなう異常パターンを学習させ、その結果を活用して異常箇所を早期に検知する技術の有効性を検証します。

静岡ガスグループは今後も、エネルギーの安定供給とお客さまのくらしの向上を目指し、取り組みを進めてまいります。

※ AI を活用した異常検知技術の開発は、国立大学法人千葉大学大学院工学研究院との共同研究（研究代表者：丸山喜久教授、共同研究期間：2026 年 11 月 1 日～2028 年 10 月 31 日）として実施します。

【スマートメーター導入のメリット】

1. 安全性の向上

ガスの使用状況や圧力を遠隔で監視することで、ガス漏れや導管の異常を早期に発見し、迅速な対応が可能となります。また、ガスの遮断・復帰を遠隔で操作できるため、緊急時や災害時にはガスを速やかに遮断し、安全を確保することができます。

2. 自動検針による利便性向上

ガス使用量が自動で送信されるため、検針員による訪問検針が不要となります。

(2028 年以降に開始予定)

3. より良いサービスの検討

スマートメーターで得られるデータを活用し、お客さまの日々のくらしに役立つサービスの実現に向けた検討を進めます。

以上